

NPO
FUKUOKA
DESIGN LEAGUE

2019
2020

ACTIVITIES
REPORT

NPO
FUKUOKA
DESIGN LEAGUE

2019
2020

ACTIVITIES
REPORT

NPO FUKUOKA デザインリーグ2019・2020 活動報告
NPO FUKUOKA 디자인리 2019-2020 활동 보고
特定非盈利活动团体 福岡设计联盟 2019・2020 活动报告

NPO FUKUOKA 디자인リーグとは

FUKUOKA 디자인リーグは福岡市のデザインセンター構想をベースに、1996年に任意団体として発足しました。その後福岡市経済産業局内に事務局をおき、「デザインによる経済振興」を主な目的としてさまざまな活動を行ってまいりましたが、「デザインを経済のためだけでなく、社会の成熟のために活用する」という大きな使命のもと、2008年に特定非営利活動法人として再スタートしました。世界はいま環境問題や高齢化問題など、さまざまな課題を抱えています。デザインは、いまこそその力を企業や経済のためだけでなく、社会のため、市民のために活用しなければなりません。FUKUOKA 디자인リーグでは、ひとりのデザイナーでは対応できない社会の大きな課題に対して、あらゆるデザイン領域を統合したトータルな力で、「市民が豊かに暮らせる社会(デザイン都市)」の実現を目指します。

What is NPO FUKUOKA Design League?

Based on Fukuoka City's Design Center Project, the FUKUOKA Design League (FDL) was established in 1996 as a private organization. Subsequently, with its secretariat located at the Economic Promotion Bureau of the Fukuoka City, the organization developed a broad range of activities, mainly aiming at economic growth through design. In 2008, however, the FDL was reorganized as a specific non-profit organization in order to achieve the even bigger goal of utilizing design not only for development of the economy but also for the promotion of a mature society. The world today faces a wide variety of problems, including problems related to the environment and aged society problem. Now is the time to use design not only for companies and the economy, but also for the entire society and the people living in it. Combining all the efforts of those committed to design, the FUKUOKA Design League strives to tackle social challenges too big for one designer alone to solve, and to realize a society in which people can live a comfortable life (design city).

NPO FUKUOKA 디자인리그란

FUKUOKA 디자인 리그는 후쿠오카시의 디자인센터 구상을 바탕으로 1996년에 임의단체로 발족하였습니다. 당시에는 후쿠오카시 경제산업국 내에 사무국을 두고 "디자인으로 이뤄내는 경제진흥"이라는 목적과 함께 다양한 활동을 계속해 왔습니다만, 이후 "디자인을 경제적인 측면뿐만이 아니라 더욱 성숙한 사회를 만들기 위해 활용하자"는 대의적인 사명 아래, 2008년 특정 비영리 활동 법인으로 다시 시작하게 되었습니다.

세계는 지금 환경문제와 고령화 문제 등의 다양한 과제를 안고 있습니다. 따라서 지금이야말로 디자인의 힘을 기업과 경제, 그리고 사회와 시민을 위해 활용해야 한다고 생각합니다. FUKUOKA 디자인리그는 디자이너 개개인으로는 하기 힘든, 사회적 과제에 대응해 나가기 위해 모든 디자인 영역을 통합한 종합적인 힘으로 '시민이 풍요롭게 살 수 있는 사회(디자인 도시)' 실현을 목표로 하고 있습니다.

特定非盈利活动团体 福岡设计联盟 究竟是?

福岡设计联盟(FUKUOKA Design League)成立于1996年,是以创立“福岡的设计中心”这个构想为蓝本而成立的自由团体。联盟成立后在福岡市经济产业局内设立单独事务局,乘着“用设计的力量振兴经济”为目的开展了各种活动。2008年开始,以新使命“设计不应是仅为经济服务,更应为了促进社会的成熟而活用”为目标,福岡设计联盟作为特定非盈利活动团体再启动。现今世界各地都有着众多共通的社会课题,比如环境课题,老龄化社会课题。正是在这样的社会背景下,福岡设计联盟认为设计在为企业和经济发展服务的同时,设计的力量更应该活用于社会,活用于福岡市市民。以设计师个人力量无法解决的复杂社会问题,福岡设计联盟将会结合来自各个设计领域的综合设计团队来进行解决。为实现“市民能拥有美好丰富生活的社会(设计都市)”的目标,福岡设计联盟今后也将不断努力。

パブリックプロジェクト

自主事業

Public Projects
퍼블릭 프로젝트
公共项目

01 第12回 ユニバーサルキャンプ in 九州 2019

Universal Camp in Kyushu 2019
유니버설 캠프 in 큐슈
通用露營 in 九州 2019

2日分の演目・食材をぎゅっと1日に詰め込んで開催!

Two days' worth of performances and ingredients packed into one day!

2일분의 연목·식재료를 짝(단단히) 1일에 가득 채워 개최!

两天的表演和原料都被装进一天的时间里!

02 デザインカフェ

Design Café
디자인카페
设计咖啡

デザインの旬な話題をお届け!

Bringing you the hottest topics in design!

디자인의 계절나화제를 신고!

为您带来最新的设计!

03 都市景観への意識高揚事業委託へのプロポーザル参加

Participated in a proposal for a project to raise awareness of the urban landscape

도시 경관에의 의식 고양 사업위탁에의 프로포설 참가

参与到提高城市景观意识的项目提案中来

「景観教育」を軸とした提案。

A proposal based on "landscape education"

「경관교육」을 축으로 한 제안

该提案以 "景观教育" 为基础

04 ロービジョンブラインドケアプロジェクト/ユニバーサルカレンダー出版

Low vision blind care project / Universal Calendar

낮은 시력맹목보살핌 프로젝트/유니버설 캘린더

低的视力盲帮助项目 / 通用设计日历出版

FDLが作るべき、見やすいカレンダーとは?

What kind of easy-to-read calendar should FDL create?

FDL이 만들어야 할, 보기 쉬운 캘린더란?

FDL应该创建什么样的易读日历?

05 デザインセミナー2019・2020

Design Seminar 2019・2020

디자인 세미나 2019-2020

2019・2020年 设计研讨会

「探る、企業とデザイナーの幸せな関係」

Explore the happy relationship between companies and designers

살피는, 기업과 디자이너가 행복한 관계

探索公司和设计师之间的愉快关系

「十人十色、わたしが見る色・あなたが見る色」

Ten colors for ten people, the colors I see, the colors you see

십인 십색, 내가 보는 색·당신이 보는 색

十个人的颜色, 我看到的颜色, 你看到的颜色

育成プロジェクト

Educational Projects
육성 프로젝트
培养项目

06 デザインスクールキャラバン in 東住吉中学校

Design School Caravan in Higashi Sumiyoshi Junior High School

디자인스쿨루카라반 in 히가시스미요시 중학교

东住吉中学的设计学校大篷车

外国人に向けてのコミュニケーションデザイン。

Communication design for foreigners

외국인을 향해서의 커뮤니케이션 디자인

针对外国人的沟通设计

サポートプロジェクト

受託事業

Support Projects (Commissioned)
서포트 프로젝트
支援项目

07 九州経済産業局受託事業 2019・2020

「デザイン経営」手法を活用した地域中小企業等支援方策調査事業

2019 Research project on support measures for local SMEs using "design management" methods

2019년도 「디자인 경영」수법을 활용한 지역중소기업등 지원 방책조사 사업

2019年度 採用 "设计管理" 方法的 地方中小企业扶持措施研究项目

「デザイン経営」のパートナーを見つけるプロジェクト。

Project to find a partner for "Design Management"

「디자인 경영」의 파트너를 찾는 프로젝트

为 "设计管理" 寻找合作伙伴的项目

地域中小企業における「デザイン経営」導入促進に向けた広報事業

2020 Public Relations Project to Promote the Introduction of "Design Management" in SMEs

2020년도 지역중소기업에 있어서의 「디자인 경영」도입 촉진을 향한 홍보 사업

2020财政年度 促进地方中小企业引入 "设计管理" 的宣传项目

「デザイン経営」実装に向けてのプロジェクト。

Project for the implementation of "Design Management"

「디자인 경영」구현을 향해서의 프로젝트

实施 "设计管理" 的项目

OI 第12回 ユニバーサルキャンプ in 九州 2019

Universal Camp in Kyushu 2019

◎日時/2019年10月12日[土] ◎会場/海の中道海浜公園デイキャンプ場



●BBQ開始



●ダンボールピザ



●ペットボトルを用いた人命救助講座



●竹で食器作り



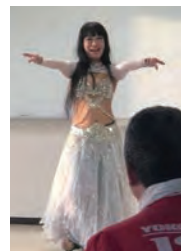
●電子紙芝居

2日分の演目・食材をぎゅっと1日詰め込んで開催!

1回目の発足より『ダイバーシティ (Diversity = 多様性)』の視点に立ち参加者の一人ひとりが尊厳を持つ対等な関係であることを理解する』という思いを胸に障がい者理解を中心に活動を行なっておりますが、11周年目を執り行うにあたり『ダイバーシティ (Diversity = 多様性) = 障がい者』というだけでなく『児童』『外国人』など『現在の九州における身近な多様性』についてもプログラムを見直し、より多くの皆様と共に『多様性』について考える2日間にしたと考え計画いたしました。

【内容】

- 開会挨拶・概要
- ダンボール窯作り
- ダンボールピザ
- 竹で食器作り
- ペットボトル救命講座
- 手話で歌おう講座
- 博多織バッジ作り
- BBQ開始
- 電子紙芝居
- ベリーダンス



●ベリーダンス

【参加者】24名

大人: 21名(障がい者5名含む含む)
子ども: 3名

●担当者感想

当日は大型台風が関東中心に日本を覆い当日まで1泊2日予定でしたが、朝礼にて営業時間のみ開催という通達があり急遽スケジュール変更2日分の演目・食材をぎゅっと詰め込み一気に強風でもできるを行いました。毎年様々なことを参加者全員で体験いたしますが、今回も中止も視野に入れつつ蓋を開ければ充実したキャンプを行うことができました。ご参加ご協力していただいた皆様ありがとうございました。

<ひろわたり ちはる>

02 デザインカフェ

Design Café

◎日時／2019年5月28日〔火〕、10月18日〔金〕
 ◎会場／九州大学大橋サテライト「ルネット」、福岡市美術館レクチャールーム
 ◎講師／池田美代子氏、佐藤俊郎氏、佐藤 優氏

デザインの旬な話題をお届け！

デザインカフェは、2019年度にVol.32として佐藤俊郎氏と池田美代子氏による「バウハウスとモダンデザインの原点を再考する」と特別編として佐藤優氏の「福岡市の都市景観の経過と展望」の2回行いました。Vol.32は解体されたルネットでの最後の開

催に相応しい刺激的な内容でした。特別編は、長年にわたり福岡市の景観アドバイザーを務められてきた佐藤優氏から、福岡市の景観形成の過程を聞くことが出来ました。2020年度は残念ながらコロナ禍のため実施出来ませんでした。

●担当者感想

コロナ禍の中でデザインカフェの担当も変わり、カフェのあり方も変化を求められています。セミナーとの棲み分けを行いながらリモートでの開催も考えられますが、デザインの旬の話題について気軽に開催するというスタンスは変えずに開催したいと思います。

<照井善明>



●Vol.32



●Vol.32



●特別編

03 都市景観への意識高揚事業委託へのプロポーザル参加

Participated in a proposal for a project to raise awareness of the urban landscape

「景観教育」を軸とした提案。

「福岡市都市景観賞」を中心とした景観への意識高揚事業委託は、令和2年4月に公募がされたがコロナ感染拡大のため一旦中止となり、同年10月に再募集がされた。当事業は、企画書と事業見積りのプロポーザル方式で、内容は都市景観賞事業の運営と、賞の認知度向上を目指したPR事業、また賞の単独ホームページ開設等であった。FDL内では委託内容に対して疑問の声もあったが、デザインを通して都市を創造することがFDLの活動目的であることから参加に踏み切った。

福岡市都市景観賞は、福岡市の景観を構成する建築や広告、活動などを市民とともに顕彰し、都市景観への市民の意識を向上させることが目的のひとつである。このことから、市民の「賞のPR・認知度」の前に「都市景観への理解」に重点を置くことが必要であると考えた。さらに、認知度向上の対

象者が30歳以下であったため、子供を通じた景観教育を行うことで、その親世代への波及が望めると考え、景観への意識を持続的に行うための小学生から大学生を対象とした「景観教育」を軸とした提案をした。

提案は、市の要望(仕様書)とは少し外れたものであると認識していたものの、FDLとして現状の課題を解決する企画をすべきと試みたが採択されなかった。今回の提案は、市の事業として実現できなかったが、都市の創造的価値の礎として、FDLの活動において実現させたい。今後の課題は、今回に限らずFDLとして「あるべき姿」を提案することを優先してきたが、FDLが考える創造的価値を実現させるには、まずは採択される提案をすることが不可欠であり、仕様書に忠実に応じた提案をすることがある。

(担当：中牟田麻弥)

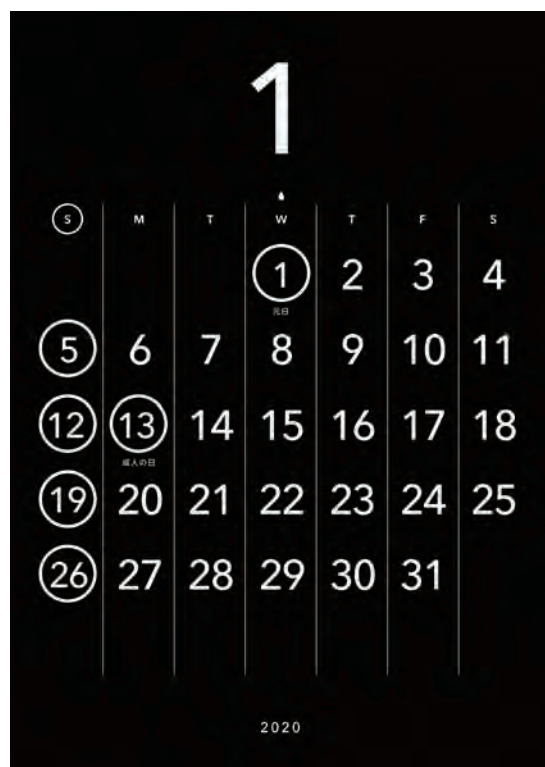


04 ロービジョンブラインドケアプロジェクト/ ユニバーサルカレンダー出版

Low vision blind care project/Universal Calendar

FDLが作るべき、見やすいカレンダーとは？

2019年度版は前年から続くスマートフォン
の音声読み上げ機能を用いた音声情報QR
コード付、2020年度版はQRコードを外し
て、シンプルな体裁に改訂しました。FDLが
作るべき、見やすいカレンダーとはどのよう
なものか？2021年度からの新体制を見据え
て、変化させるべきところと踏襲するところ
を引き続き検討していきます。
(担当:計盛政利)



05 デザインセミナー 2019・2020

Design Seminar 2019・2020

◎日時／全4回(2019年7月26日〔金〕、9月20日〔金〕、10月25日〔金〕、11月22日〔金〕)

◎会場／第1回＝大橋サテライト、第2～4回＝福岡デザイン専門学校

◎講師／①梶原道生氏・茂村巨利氏 ②下村晋一氏・横山洋平氏 ③中庭日出海氏・長尾朋貴氏

④八木田一世氏・橋爪 大輔氏

「探る、企業とデザイナーの幸せな関係」

「探る、企業とデザイナーの幸せな関係」と題して、全4回シリーズでデザインセミナーを開催しました。主に、デザイナーとの出会いや接し方に悩む企業や、企業との関係づくりに悩むデザイナーにとって有益な情報を提供する、という目的で有料のセミナーとしました。「ブランディング」「WEB」「プロダクト」「プロデュース」という4つのカテゴリーでそれぞれ各1回開催。同じカテゴリーのデザイナー2名によるクロストーク形式で進行了ました。各回、30～50名程度の方々に参加。クロストーク後は、参加者から活発に質問が出るなど盛り上がりを見せました。

●担当者感想

有料でのセミナーは、デザインリーグとして初めての試みで集客が心配されましたが、結果的に多くの方々に参加いただき、無事終わることができました。登壇者からは事例を交え、実務に関する具体的な話が展開され、参加者にとって有益なセミナーとなったのではと感じています。 <長尾朋貴>



◎日時／2021年3月4日〔木〕 ◎会場／オンラインセミナー

◎講師／須長正治氏(九州大学芸術工学研究院教授)・羽野暁氏(九州大学キャンパスライフ・健康支援センター特任助教)
中牟田麻弥氏(MEDデザイナー)

「十人十色、わたしが見る色・あなたが見る色」

昨年度も実施したデザインセミナー、コロナ禍の今年度はオンラインセミナーとして実施しました。「十人十色、わたしが見る色・あなたが見る色」

と題して、3人の講師に登壇いただき、2色覚にやさしいカラーデザインについてお話しいただきました。学術的な内容とデザインの観点、2つの側面をうまく融合させた内容

で、とても有益なセミナーとなりました。当日の参加者は50数名でした。

●担当者感想

デザインリーグとして初めての試みとなるオンラインセミナー。入念なリハーサルのおかげで、滞りなく進行することができました。今回はテスト的な意味合いから無料セミナーとしましたが、今後は有料でも開催し、よりたくさんの方々に参加いただけるようなセミナーに育てていきたいと考えています。 <長尾朋貴>



06 デザインスクールキャラバン in 東住吉中学校

Design School Caravan in Higashi Sumiyoshi Junior High School

◎日時／2019年9月21日(土)8:00～12:30

◎会場／福岡市立東住吉中学校

◎対象／1年生 約100名

外国人に向けてのコミュニケーションデザイン。

「東住吉中学校の周辺には民泊などが多く、外国人などの構内への無断の立入りや撮影などが多発しており、生徒が不安になることが多い。そこで校門などに立入りや撮影を抑止するようなサインを設置したい。」との課題をいただきました。

9月5日(木)にスクールキャラバン実行委員により事前授業を行い、生徒さんたちのようなサインだといいかといった宿題を出していただきました。その宿題を9月17日(火)に回収して委員会において解決案のアプローチごとのグループ分けを行いました。当

日、FDLメンバーはファシリテーターとして参加して、各班のブレインストーミングのスムーズな進行のお手伝いを行いました。

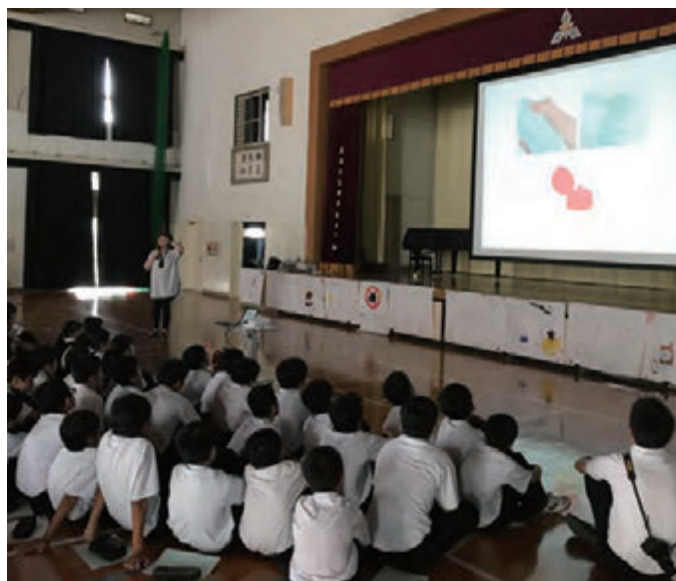
●伝え方による出てきたプランのグループ分け

- A ダイレクトに立入りや撮影の禁止を伝える (KEEP OUTなど)
- B 警告(学校内に立入ると警察がきます。など)
- C フレンドリーに禁止を伝える (表現に工夫がある)
- D ここは学校ですと伝える(=立入り禁止)
- E 間接的な別の場所への誘導
- F 条件付き許可(受付をしてください。など)

●担当者感想

例年、南当仁小において行ってきたデザインスクールキャラバンですが、今回は東住吉中の明石先生より、是非うちの学校でも行ってほしいとお話から始まりました。近年、南当仁小では段ボールなどを使って、校区の街づくりを工作的なものとして作っていましたが、今回は先方よりの課題をデザインで解決できないかとお話をいただいたの取り組みとなりました。様々な可能性を探るために6班に分けて取り組み、生徒たちのプレゼン時には先生だけでなく、保護者の方々も加わって大変熱のこもったものとなりました。再び東住吉中での開催の要望もありましたが、コロナの事もより早く開催が実現することを祈ります。

<垣田健吾郎



07 九州経済産業局受託事業 2019 「デザイン経営」手法を活用した地域中小企業等支援方策調査事業

Research project on support measures for local SMEs using "design management" methods

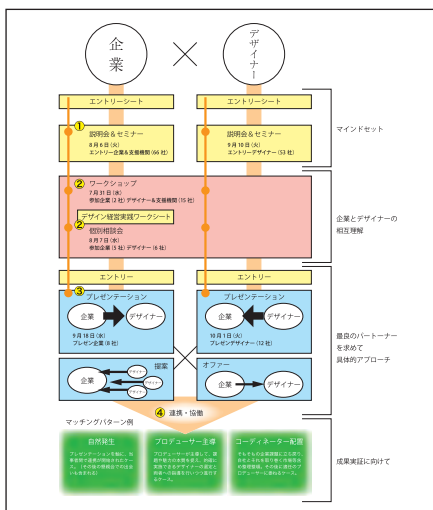
「デザイン経営」のパートナーを見つけるプロジェクト

九州経済産業局とタイアップして取り組んでいる「デザイン経営」啓発プロジェクトの2年目の取り組みとして実施しました。平成30年5月、経済産業省・特許庁は「デザイン経営」宣言を公表。「デザイン」とは、企業が大切にしている価値と意志を表現する営みであると共に、顧客の潜在的なニーズを基に事業化を構想する営みでもあります。「デザイン経営」推進にあたり、企業が創造性とイノベーションを発揮し、顧客のみならず社会からも必要とされる存在になるよう、企業とデザイナーのより良い「連携・協働」のあり方をテストケースとして調査することが取り組みの主旨です。

また、事業の取り組みをまとめた冊子「九州デザインストーリーブック」を発行しました。

<目的>

- ・企業とデザイナーが企業課題の解決にあたり、デザインを活用して連携する機会を創出する。
- ・両者が連携、協働して企業価値向上に取り組む上での課題を明らかにし、その解決に向けた支援方策を調査する。



step 1 マインドセットセミナー

デザイン経営に携わる上での心構えを学ぶ。企業向け/地域中小企業こそが「デザイン経営」で生き残る！（小さな企業が生き残るには）

●講師：金谷 勉 氏

広義においてのデザイン力をベースに、日本各地の地域産業を数多く成功に導いている金谷氏。商品開発に留まらず、企業分析、コスト削減、販売ルート開拓など総合的な手法が高く評価されており、事例紹介・解説とともに九州においての可能性を示唆していただいた。

デザイナー向け/企業を救える名医になろう！（企業と連携するとはどういうことか）（ヤブ医者ならぬヤブデザイナーとならないために）

●講師：エサキヨシノリ 氏

●パネラー：江副直樹 氏

●ファシリテーター：神田橋幸治 氏

本当の意味で企業を救えるデザイナーに必要なものとは何か？マインドセットに定評のあるエサキ氏の講演を皮切りに、名プロデューサー江副氏、切れ者コーディネーター神田橋氏を交えてディスカッション。プロデュース力の重要性とその向上方法など紐解いていただいた。

step 5 企業とデザイナーの相互理解

自由討議で課題解決の可能性を深める。

企業とデザイナー合同で実施。

●実践ワークシートワークショップ

企業1社と複数のデザイナーがひとチームになり、ビジネスプランの策定や企業の弱み強みをディスカッション。企業にとっては、自社の本質価値への気づきの場、デザイナーにとっては、企業ブランディングの実践と企業分析ノウハウ吸収の場となった。

●個別相談会

相談企業が記載した経営実践ワークシートをもとに、1対1での相談会。病院に例えると、問診表をもとにした初診のイメージで、企業課題の根源や魅力の本質発掘等を行った。

step 3 プレゼンテーション

デザイン経営のパートナーとの出会い。

<企業からデザイナーへの

課題提示プレゼン会>

マッチングを希望する企業8社がプレゼン。それを受けてデザイナーから後日、課題本質と解決に向けての大方針の提案を行った。提案書提出デザイナー15者。

<デザイナーから企業に向けた

アピールプレゼン会>

企業との連携を希望するデザイナーから企業に向けて、実績（ポートフォリオ）やデザインする上で大事にしていること、取り組みた分野、連携したい事業や業種等をアピールするプレゼン会を実施。（プレゼンデザイナー12者）

<プレゼン力向上塾>

●講師：エサキヨシノリ 氏

アピールプレゼン終了後、各デザイナーのプレゼン内容を踏まえつつ、実践的でより具体的な講師からの指摘を基調に参加者間でディスカッションを行った。価値観を同じくする企業から「デザイン経営」のパートナーとして選ばれるには？その可能性をあげるきっかけになったと感じる。

step 4 パートナー選定 連携開始

協働によるデザイン経営の始まり。

プレゼン+提案書を経て、3件のマッチングが完了。

●担当者感想

デザインは、企業とデザイナーの共同作業であり、お互いに良きパートナーと巡り会うにはどうしたらいいのか？そのシステム作りを模索した事業と言えます。課題がより浮き彫りになったということも含め、成果といえるものが多々あった取り組みではないでしょうか。今後に向けて必要と思えることを最後に記します。

1. 企業経営層の「デザイン経営」に関する更なる理解
2. 企業自身による、自社の強み・課題の整理
3. デザイナーのデザインプロデュース力の更なる向上
4. 企業・デザイナー双方が本音で相談しあえる場
5. 企業・デザイナー双方の知的財産・契約業務に関する知識向上

<武永茂久>

九州経済産業局受託事業 2020

地域中小企業における「デザイン経営」導入促進に向けた広報事業

Public Relations Project to Promote the Introduction of "Design Management" in SMEs

「デザイン経営」実装に向けてのプロジェクト

2018年から続く、「デザイン経営」をテーマとした事業の3年目。実装に向けた、今後も継続可能なものとして定着を狙った取り組みです。大きく変わった点は、請負事業者の変更です。今までFDLだったのを西日本新聞社に担ってもらいました。それにより、FDLとして大変負担が大きかった運営事務業務から解放され、デザインサイドからの監修・支援・協力を徹することが可能になりました。加えて、主な対象者を企業に絞った点。結果として、企業とデザイナーのベストマッチング実装に大いに期待できる事業になったと感じています。

2018年「九州デザインファイル」2019年「九州デザインストーリーブック」と合わせて3部作となる2020年「九州デザインガイドブック」の監修・編集も行いました。



<目的>

- ・企業とデザイナーの連携による新たな価値創造に向けた「デザイン経営」への理解促進
- ・パートナーとなるデザイナーとの出逢いをサポート



step 1 「デザイン経営」が見えてくるセミナー

「夢を現実にする『デザイン経営』とは？」

●講師：菅原武春 氏／竹口尚樹 氏

●ファンリレーター：江副直樹 氏

「デザイン経営」とは何なのか？その答えを探すべく、企業、金融機関、クリエイティブからの視点で語って頂いた。



step 2 「デザイン経営」が見えてくるワークショップ

10名のモデレータが一人当たり数名の企業を担当して、ディスカッションを実施。「デザイン経営」を体験する機会として行った。参加企業は事前に経営デザインシートを提出。モデレータは担当企業のシートに目を通しそれをもとにヒヤリングや討議を試みる仕組み。参加企業の多くがデザイナーと接することの意義を感じる結果となり、次のステップへの足がかりとなった。

step 3 プレゼンテーションデザイン講座

●モデレータ：エサキヨシノリ氏

デザイナーにプレゼンする企業9社を対象に、自社の課題や価値を整理し、情熱や本質をデザイナーや社内外に伝えることができるようにサポートする講座。

step 4 デザイナーに想いを伝えるプレゼン会

プレゼンデザイン講座に参加した9社が、共に歩んでくれるパートナーに向けてプレゼンを実施。

step 5 企業とデザイナーを繋いでいくフォローアップ

プレゼンを行った企業9社と、その9社と協働したいと手を挙げたデザイナーとの連携に到るまでをサポート。年度末現在、9社中7社がマッチング完了。

●担当者感想

九州経済産業局と3年間取り組んできた「デザイン経営」啓発プロジェクト。毎回多々問題が起こるのですが、特に今年度はコロナ禍にあって開催自体が危ぶまれました。全てリモートで行いましたが、想定したほどの支障もなく、むしろ順風に進められた感があります。結果から見ると今回のシステムはかなり良好といえるでしょう。今後もより発展的に実施していけるよう各方面と連携しながら進めていければと思います。最後になりましたが、九州経済産業局様、(株)西日本新聞社様、講師やモデレータを快く引き受けてくださった皆様方のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

<武永茂久>

あとがき

長年拠点としていた九州大学大橋サテライトから、福岡グロースネクストへと事務局を移した2019年度。そして起業の可能性を求め活動した2020年度。本来ならFDL史上、特筆する変化があったと記録されたことでしょう。残念ながら、コロナ禍の影響は多大なものがあり、多くの事業が中止、もしくは縮小となり、違う意味で記憶に残る2年間となりました。事務局・岡氏の退社に伴い2020年7月以降の事務処理を担う負担も加わり、会運営として大変厳しいものとなっております。そんななか、テスト的に行った初のリモート開催の「デザインセミナー」は大変好評で今後の可能性を大きく広げたと言えるでしょう。また、UDカレンダーにおいては販売数の増加に伴い、新バージョンの探求に着手。2021年度完成に向けて開発がスタートしています。より魅力あるオリジナル商品の誕生に大いに期待したいと思います。九州経済産業局からの受託事業も変わらず高い評価を得ており、事業報告冊子「九州デザインストーリー」「九州デザインガイドブック」は前作同様、経済産業省を通して全国的に紹介される見込みです。今後、厳しい状況はまだ続くと思われませんが、社会貢献と経済振興の活動バランスを考慮して活動していきたいと考えます。そのためにも会員間はもちろん、関係各所の方々と連携を深めていく必要があり、引き続きのご協力、ご尽力、ご支援のほどをお願いいたします。

NPO FUKUOKAデザインリーグ理事長 武永 茂久

NPO FUKUOKAデザインリーグ会員 (2021年3月31日現在)

■団体正会員

(公社)日本建築家協会九州支部福岡会(JIA)
(公社)日本サインデザイン協会 九州地区(SDA)
(一社)日本商環境デザイン協会 九州支部(JCD)
(一社)日本空間デザイン協会 九州支部(DSA)
(公社)日本インテリアデザイナー協会(JID)
(一社)九州アートディレクターズクラブ(K-ADC)
福岡県産業デザイン協議会
麻生建築&デザイン専門学校
日本デザイナー学院
福岡デザイン専門学校
株式会社 環境デザイン機構

■個人正会員 (50音順)

阿武 寿志	計盛 政利	照井 善明	松山 真介
池浦 和也	加瀬 成人	長尾 朋貴	馬渡 秀公
石井 由美子	川崎 泰秀	中島(濱川) 梨沙	村上 智一
内田 正宏	神田橋 幸治	永野 研太	森重 正治
大野 郁治	金 戊丁	長峰 栄子	吉田 寛史
奥 勝浩	坂元 成人	橋爪 大輔	吉崎 達也
岡 真由子	嶋本 和夫	羽野 暁	
鬼塚 淳子	正田 美加	廣瀬 正人	
垣田 健吉郎	武永 茂久	広渡 千春	

■団体賛助会員

株式会社ステッカートレーダージャパン
社会福祉法人未来駅

■個人賛助会員 (50音順)

犬山 祥子
北川 千枝
田中 亮二
樋口 敬
宮崎 宏之

■名誉会員

水口 敬司(平成20~22年度理事長)
渡辺 顕好(平成23年度~27年度理事長)
定村 俊満(平成28年度~29年度理事長)

■役員

理事長 武永 茂久	理事 深町 俊彦
副理事長 中牟田 麻弥	理事 栗田 融
副理事長 長尾 朋貴	理事 垣田 健吉郎
専務理事 照井 善明	理事 広渡 千春
理事 森重 正治	理事 池浦 和也
理事 大庭 香代子	理事 今泉 清太
理事 水野 宏	監事 金子 洋伸
理事 梶原 道生	監事 正田 美加
理事 伊場 芳朗	

■相談役

定村 俊満
佐藤 俊郎

(2019年度役員) 理事 犬山 祥子 監事 川崎 泰秀

特定非営利活動法人 FUKUOKA デザインリーグ
2019・2020 活動報告書

事務局

〒810-0041 福岡市中央区大名 2-6-11 Fukuoka Growth Next 内

TEL : 092-551-0825

(令和3年7月以降)

〒810-0042 福岡市中央区赤坂 1-11-16 FD+ 5F

株式会社 環境デザイン機構 内

TEL : 080-9109-8944

Email fdljimu@f-design.gr.jp

URL <https://www.f-design.gr.jp/>

FUKUOKA
DESIGN LEAGUE